

森からのお手紙

4号
2019

Topics

森のこよみ
お客様物語 瀧澤ちひろさん



お客様 物語

第4回



今回のお客様
瀧澤ちひろさん

千葉市に在住の瀧澤ちひろさん。昨年9月にお母さまの納骨をされました。森の墓苑の資料を請求したのは、お母さまご本人だったそうです。

ちひろさんのお母さまは幼稚園教諭をされていて、子どもの教育に幅広い関心をよせ、さまざまな研修にも参加していました。自然が好きで卒園児を連れて公園や山に連れて行く



なかったそうですが、ある時、新聞に森の墓苑の記事を見つけ、ちひろさんに「これにして欲しいの」と言ったそうです。

「あ、いいね」。ちひろさんをはじめ、お兄さん、弟さんと3人の子どもは賛成、そして親族もお母さまの考えをよく理解して、いて相違はありませんでした。

お兄さんと見学に訪れたのは5月末頃。一面の緑に草花が咲くなか、雨上がりに鳥がさえずり「思ったよりずっといい所」と感じたそうです。また、「50年後に本当の森になるというコンセプトがいいですね。土になってこの生態系をつくる、その環境になるといいのがある」と思いました」と森の墓苑の魅力を話してくれました。

「母は、『一周忌や三回忌などはやらないで。思い出した時に

開苑から多くのお客様との出会いがあります。お一人おひとり積み重ねてこられた人生が異なるように、お墓の選び方も実にさまざまです。その想いや考えは、今お墓を探している方々にとって参考になるのではないかと思います。契約された方の声を少しずつお届けしたいと思っています。

こともしばしば。ビオトープや生態系に興味を持ち、当協会の「ことも環境管理士」の資格も取得しました。

そんなお母さまにがんが見つかり、医師から余命を宣告されてしまいました。お母さまは以前から一般的な墓地には関心が

来てくれればいい」と言っていた

ました。今は季節が変わると、どんな様子になっているかなとお参りに行きます。母の同僚でもあり私の高校時代からの仲の良い友人が、お子さんを連れて一緒にお参りに行きました。子どもたちがカブトムシの幼虫に触れたり、ビオトープの池を興味深そうに見て楽しんで…。母も、こういうのが一番嬉しいのかなと思います。

植えたヤマザクラがそんな皆の姿を見守っています。



森の墓苑

自然のなかに眠り森を育てる

見学予約
問い合わせ

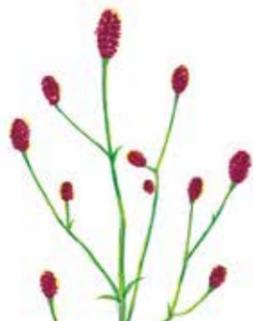
(公財)日本生態系協会 森の墓苑東京事務所
東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル
フリーコール 0120-901-580 (9:00 ~ 18:00)
ホームページ www.morinoben.org



エノコログサ

森のこよみ

《秋の野草たち》
墓苑の木々は、夏の深い緑色から紅や黄色など、美しい秋の色に染まりました。野草たちの“草もみじ”は錦のように輝いています。植樹草会で種をまいたタコノアシは真っ赤になり、オミナエシ、キンミズヒキの黄色、ハギ、ワレモコウの赤紫色、リンドウ、ツリガネニンジンの青紫色、そしてススキの銀色は、青く澄んだ空とともに秋の深まりを感じさせてくれます。『自然が増えるお墓』である森の墓苑は「秋の七草」をはじめ、貴重な草花たちが少しずつ回復しながらひろがっています。



昆虫の家

タコノアシ

オミナエシ

ゴマダラカミキリ

タマゴタケ

リンドウ

ツリガネニンジン

カヤネズミ

ヤマハギ

《いろいろな生きもののための『すまい』づくり》イベントその後

理事で女優の八千草薫さんと気象予報士の森田正光さんを迎え行われたイベントでは、さまざまな生きものの巣箱をたくさんかけることができました。「昆虫の家」にはハチの仲間やカミキリムシ、テントウムシが集まりました。これからさらに多くの生きものが利用してくれます。苑内ではカヤネズミが営巣するなど、生きものがゆたかに暮らせる環境づくりが実を結びました。なお、たいへん残念なことに、当協会の理事として20年にわたりご活躍いただいた八千草さんが、10月に急逝されました。八千草さんの「自然が増えるお墓ができる」といのにね」との後押しもあって始まった森の墓苑ですが、自然再生とピオ

《落ち葉敷き》

トープづくりに注がれた想いをしっかり受け止めて次の世代へ伝えていきます。
森から降ってきた色とりどりの落ち葉とさまざまな木の実が、地面をパッチワークのように賑やかに覆っています。落ち葉を集めてたい肥にしたり、苑内にまいて苗木の土づくりをしています。ふかふかのじゅうたんのような落ち葉の下では、たくさん小さな生きものたちが葉を分解して土の養分をつくったり土を耕したりして、自然を縁の下で支えてくれています。土をつくるためにはいろいろな生きものが必要です。すむ森や草はらと、とても長い時間が必要です。



◆ 年末年始について

令和元年12月28日(土)〜令和2年1月5日(日)は毎日開苑しています。(元旦のみ15時閉門)

◆ 見学やお墓参りについて

平日にご来苑の際は、スタッフが不在のこと

がありますので、前日までにご連絡ください。

開苑時間9〜16時。

◆ 個別墓追加販売のお知らせ

春には、個別墓「せきれい」の1〜2区画の追加販売を開始します。送迎バス等による現地説明会のほか個別見学も受け付けております

ので、是非当苑までお越しください。

◆ 「出張説明」承ります

ご依頼をいただければ、お客さまのご自宅や団体・企業への「訪問説明」を承ります。※首都圏は無償で参ります。その他の地域は交通費(実費)をご負担ください。